

# 2022年度地方共創プログラム ～地方に学び、自分を知る～ 最終発表会

- 日時 2023年1月6日（金）13:00～15:30
- 実施方法 対面とオンライン（Zoom）のハイブリッド形式  
※実施後の録画配信は予定しておりません。
- 会場 法政大学市ヶ谷キャンパス  
ボアソナード・タワー26階 スカイホール
- プログラム（予定）
  - （1）開会挨拶
  - （2）出席者紹介・プログラム概要説明
  - （3）グループ発表（4グループ）
  - （4）講評
  - （5）閉会挨拶

- 申込方法  
下記申込フォームからお申し込みください。  
<https://fs220.xbit.jp/t667/form4/>



※個人情報は厳重に管理し、本イベント以外の目的で使用いたしません。  
※オンライン参加をご希望の方には、前日までにZoomのURLをご案内いたします。

- 申込締切 2022年12月22日（木）17:00

## プログラム概要とこれまでの活動

本プログラムは、本学の学生が文献やインターネットによる事前調査、現地でのフィールドワーク、オンラインを活用した地方自治体や地域事業者へのインタビュー等を通して、その地域の魅力と課題の双方を知り、「共に」地域社会を「創る」ことを目的としています。

2022年度は、本学創設者（伊藤修、金丸鉄）の出身地である大分県杵築市を対象地域とし、自治体から提示された以下のテーマに対して、地域活性化の貢献につながる実現可能なプランの企画・提案に取り組んでいます。

<テーマ>

- ①だんだん杵築に行きたくなる発展型観光プラン
- ②杵築の城下町を訪れた人が、更に足を延ばして山香地域・大田地域へ訪れてくれる周辺観光プラン
- ③杵築産ハモ（鱧）のプロモーションプラン

8月に事前レクチャー・全体ワークショップを行い、その後は個人・グループワークを経て、9月6日（火）～8日（木）に現地フィールドワークを実施しました。学生はテーマごとの4つのグループに分かれ、県漁協のハモ加工処理施設や大分農業文化公園（るるパーク）、市内の民泊施設等を訪問し、事業者の方々から話を伺いました。最終日には、全員で城下町周辺を訪れ、土地の構造や市の成り立ちを学びました。直接現地を訪れ、見聞きすることで、地域の魅力や課題を新たに発見するとともに、理解を深める貴重な機会となりました。

その後、フィールドワークで得たことをもとにプランを練り、地元事業者へのオンラインインタビューを経て、11月10日（木）に中間発表会を行いました。杵築市ご担当者からプランに対する率直な感想や意見、提案等が寄せられ、各グループ検討課題を再発見するとともに、最終発表会に向けて、プランの提案準備を進めています。

社会連携教育センターWebサイトにも活動報告を掲載しています。  
URL：<http://www.hoseikyoku.jp/shakairenkei/>



<主催>

法政大学教育開発支援機構 社会連携教育センター  
TEL：03-3264-4268 E-mail：kyoiku@hosei.ac.jp